

## 第 1 2 章 公 害 の 苦 情 相 談

## 第1節 公害苦情相談の件数

### 1 公害苦情相談の件数

令和2年度の公害に関する苦情相談件数は162件で、前年度よりも51件増加しています（表12-1、図12-1）。

表12-1 年度別公害苦情相談の件数

年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	地下水	その他	合計
23	8	31	72	10	52	0	1	1	175
24	16	42	74	9	48	0	1	6	196
25	14	34	74	14	50	0	1	8	195
26	11	30	89	7	27	0	0	8	172
27	7	42	86	11	41	0	3	3	193
28	14	42	81	15	61	0	0	6	219
29	10	20	66	10	42	0	1	7	156
30	8	24	54	8	39	0	1	7	141
元	10	12	47	6	31	0	0	5	111
2	9	25	65	13	45	0	0	5	162

※水質汚濁には油類、へい死魚等を、その他には地盤沈下を含む。

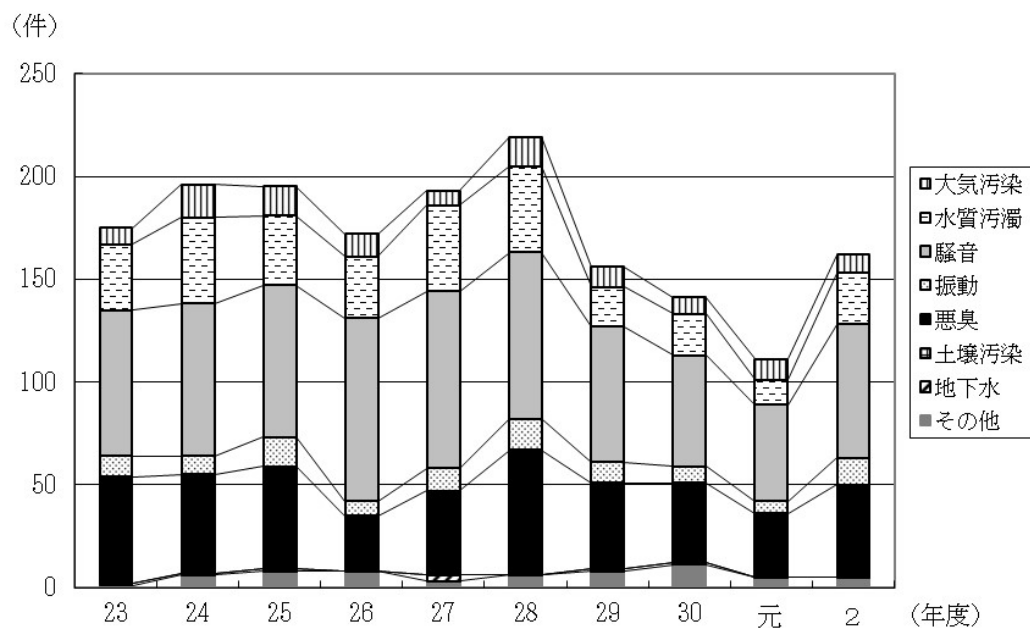


図12-1 年度別公害苦情相談件数の推移

## 2 種類別の苦情相談件数

苦情相談件数を種類別にみると、騒音の苦情相談が最も多く、以下、悪臭、水質汚濁の順となっています（図12-2）。

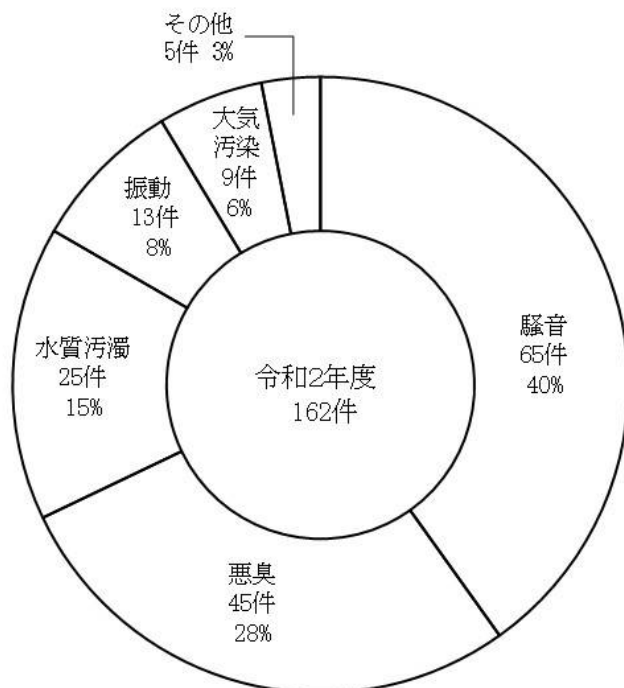


図12-2 種類別苦情相談件数

## 3 月別の苦情相談件数

苦情相談件数を月別にみると5月が最も多くなっています（図12-3）。

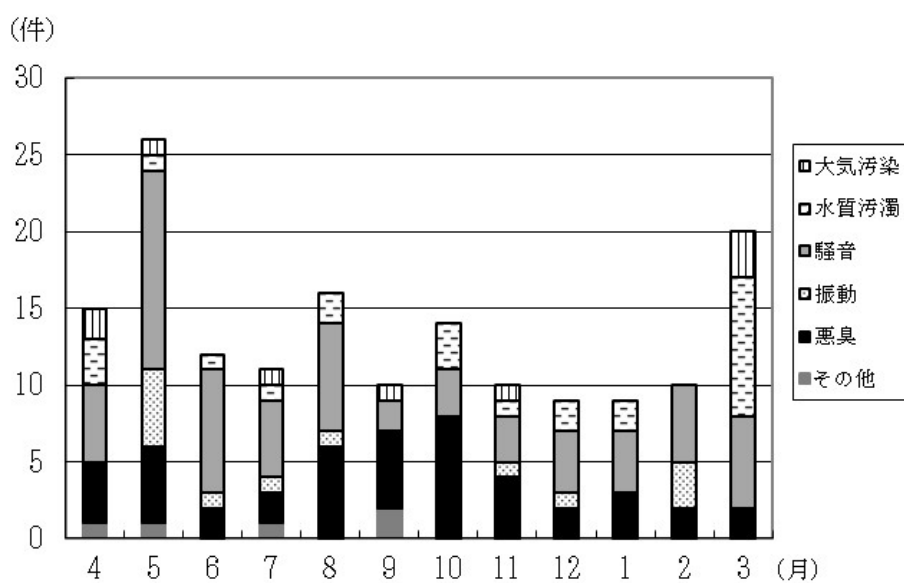


図12-3 月別の苦情相談件数

#### 4 業種別の苦情相談件数

発生源者を業種別にみると、苦情相談件数が最も多かったのは総合工事業の36件で、次いで、サービス業の32件となっています（不明を除く）（表12-2）。

表12-2 発生源の業種別の苦情相談件数

業種	大気	水質	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計	
耕種農業									
畜産養蚕農業					1			1	
農業サービス業									
林業									
漁業									
金属工業									
石炭原油鉱業									
非金属工業									
総合工事業	6	2	19	6	1		2	36	
その他工事業		2	9	1	1			13	
製造業	食料品製造業		2		5		2	9	
	繊維工業								
	木材製造業								
	パルプ製造業								
	出版関連産業								
	化学工業								
	石油製造業								
	プラスチック製造業								
	ゴム製造業								
	窯業等製造業								
	鉄鋼非鉄金属		1	1					2
	機械器具製造								
	その他製造業								
	(小計)		1	3		5		2	11
電気ガス等									
水道業									
鉄道業									
旅客輸送業			1					1	
貨物輸送業			1					1	
航空運輸業									
その他運輸業									
サービス業	再生資源卸売								
	卸売・小売業		1	4				5	
	飲食業			3		3		6	
	飲食店のカラオケ			5				5	
	洗濯理容業等		1					1	
	駐車業			1				1	
	生活関連サービス								
	旅館等			2				2	
	娯楽業			2				2	
	娯楽業のカラオケ								
	ゴルフ場業等								
	自動車整備業					1		1	
	機械修理業								
	専門サービス業								
廃棄物処理業	1				1		2		
医療業等			4				4		
社会保険福祉									
教育等		1					1		
その他サービス業			1		1		2		
(小計)	1	3	22		6			32	
公務									
事務所			1					1	
道路									
空地									
公園									
神社寺院等									
その他	1	5	8	3	16			33	
不明	1	12	1	3	15		1	33	
合計	9	25	65	13	45	0	5	162	

## 5 用途地域別の苦情相談件数

発生源を用途地域別にみると、苦情相談件数が最も多かったのは住居地域の67件で、次いで商業地域の37件となっています（表12-3）。

表12-3 用途地域別公害苦情相談件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計	比率%
住居区域	2	10	30	8	16	1	67	41.4
近隣商業	1	1	5		1		8	4.9
商業	3	2	19	4	9		37	22.8
準工業		1	2		2		5	3.1
工業		1			1		2	1.2
工業専用					2		2	1.2
調整区域		6	6	1	11	3	27	16.7
その他	3	4	3		3	1	14	8.6
特定できず							0	0.0
合計	9	25	65	13	45	5	162	100

## 6 被害の種類別の苦情相談件数

原因を被害の種類別にみると、苦情相談件数が最も多かったのは感覚・心理的の131件で、次いで健康の21件となっています（表12-4）。

表12-4 被害の種類別公害苦情相談件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計	比率%
健康	2	2	10	4	3		21	13.0
財産			1	2	1		4	2.5
動物・植物		2					2	1.2
感覚・心理的	7	18	54	7	41	4	131	80.9
その他		3				1	4	2.5
合計	9	25	65	13	45	5	162	100

## 第2節 公害苦情相談の概況

### 1 大気汚染

件数は9件で前年度より1件減少しました（図12-4）。

粉じんに関するものが9件となっています。

建設作業中の散水不足による粉じん被害が4件と多く、施工業者への周知及び指導を行っています。

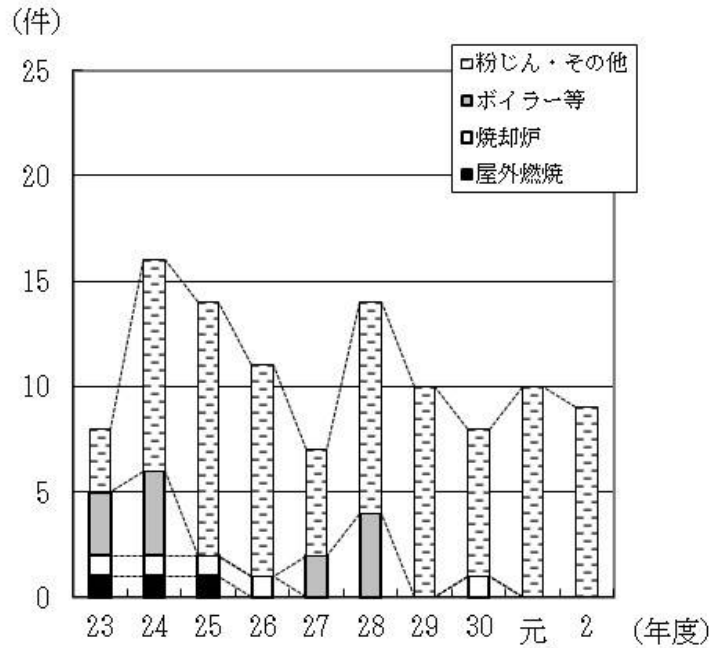


図12-4 大気汚染苦情相談内訳

### 2 水質汚濁

件数は25件で前年度より13件増加しました（図12-5）。

種類としては、汚水14件、油流出9件、へい死魚2件となっています。

河川汚濁事故対策としては、発生源に対する汚水処理の適正指導、汚濁物質の取扱い事業所に対する文書指導、広報紙による意識啓発等を行っています。

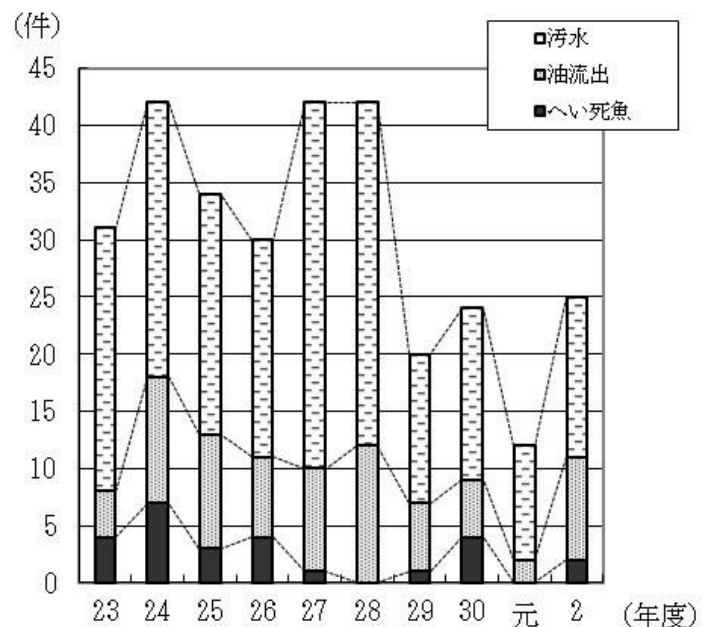


図12-5 水質汚濁苦情相談内訳

### 3 騒音

件数は65件で前年度より18件増加しました（図12-6）。

発生源としては、工場・事業場等30件、建設作業23件、営業騒音5件、その他自動車等7件となっています。

聞く人の身体や心理の状態、聞く時間や周囲の状況によってうるさく感じる度合いが異なり、また、個人の感情面にも左右される要素があります。

また、公害の規定には当たりませんが、申立者と発生源が隣接し、当事者間で解決を図る必要がある場合においても市に相談するケースがあり、隣人同士のコミュニケーション不足による影響が懸念されます。

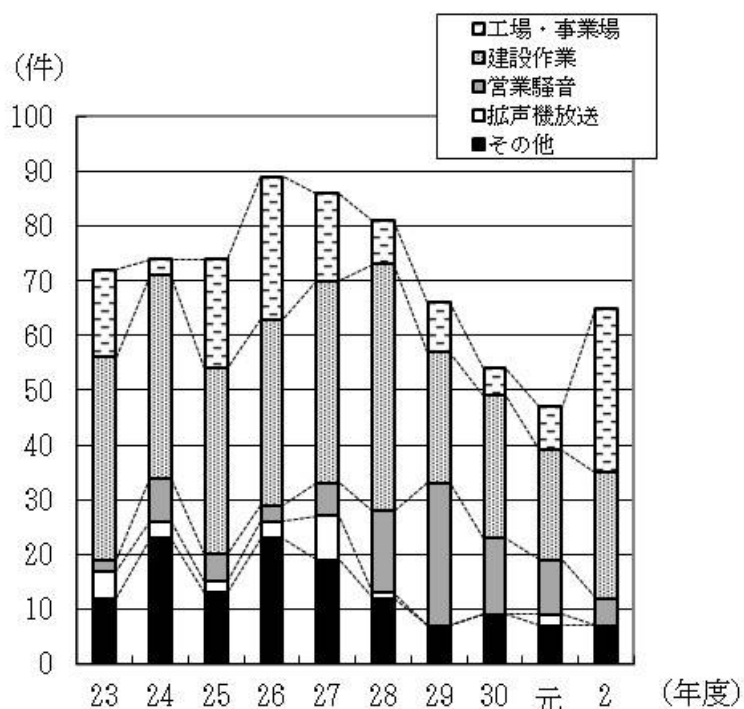


図12-6 騒音苦情相談内訳

### 4 振動

件数は13件で前年度より7件増加しました（図12-7）。

発生源の内訳は、建設作業6件、道路5件、その他原因不明等が2件となっています。

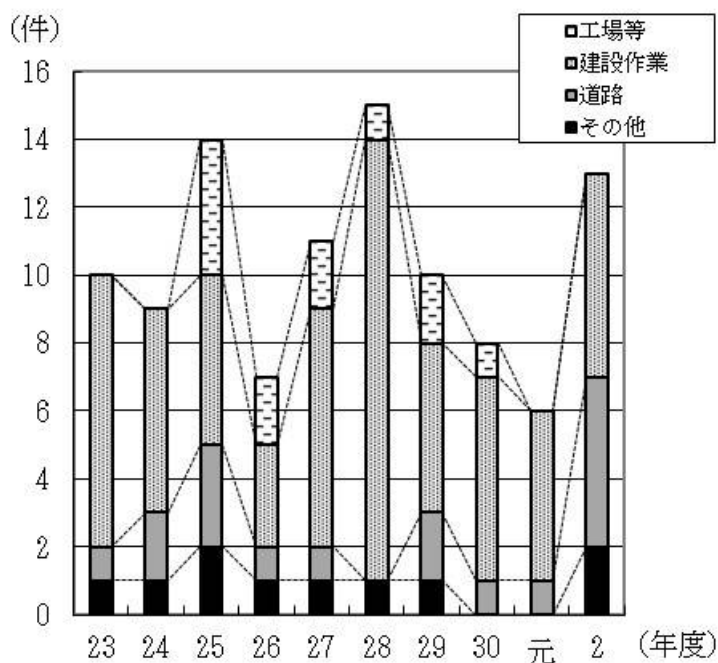


図12-7 振動苦情相談内訳

## 5 悪 臭

件数は45件で前年度より14件増加しました。主な発生源は、工場・事業場14件、その他や不明等22件などとなっています（図12-8）。

飲食店への悪臭の苦情相談が多くなっています。「3 騒音」と同様、公害の規定に当たらない当事者間のコミュニケーション不足による相談が増加しています。

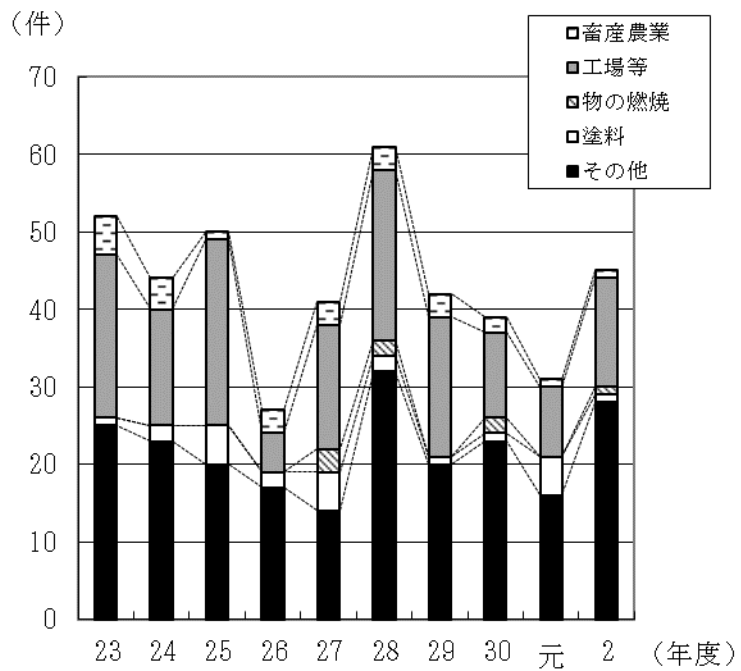


図12-8 悪臭苦情相談内訳